



歩いているとそここで柑橘系の香りがしました。スイカズラやヤマハゼの花の香りです。甘い香りのノイバラもまだ咲いていました。ニセアカシアは花殻となって散っています。気温はぐんぐん上昇していきましたが空気は乾いていて、ウグイスの声を聞きながら気持ちよく歩くことができました。



カワウの編隊飛行 (若鳥)

愛知池からの帰りに見た編隊飛行です。この6羽の腹は白く、冬の終わり頃に羽化したと思われる若鳥でした。この画像には入っていませんが成鳥も混じっていました



セイヨウミヤコグサ

ヨーロッパ原産。緑化や牧草として持ち込まれたらしい。ミヤコグサに比べ花の数が多い、茎や葉に毛があります。



ムラサキツメクサ

アカツメクサともいい、ミヤコグサと同じようにマメ科。牧草として移入されたものが広がっています。



シラン



アヤメ 東郷町の花です



オニグルミ雌花

雄花(右)は4月中旬に咲きました。赤い柱頭の雌花はすでに受粉しているようで、子房が膨らみ始めています。



サメハツブノミハムシ

体長2mmくらい。アカメガシワの葉にいます。食べ後の小さな穴がたくさんあいていました。昆布茶に似た鈍い光沢を持っています。指を近づけるとすぐ逃げ始め。太い後ろ足が見えました、ノミのように跳ねます。



アサマイチモンジ

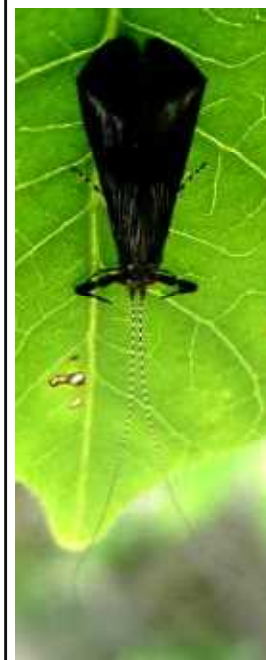


ミスジチョウの仲間。幼虫はスイカズラ（左）などを食べます。日本固有種で、数はあまり多くないようです。



コムスジ

幼虫はハギやクズ、ニセアカシアなどを食べます。飛び方が独特で、パタパタと羽ばたいた後、スーと流れるように滑空します。雑木林の周辺にいます。



アオヒゲナगतビケラ

池沿いの道歩いていると葉の上でじっとしているこの虫によく出会いました。

体長 20 ミリ。触角は体長より長いです。幼虫は水の中で暮らします。



ハルジオン



満開でした。この花が終わる頃に、ヒメジョンが咲き始めます。右がヒメジョンでハルジオンより花びらが少ないです。



アシナガグモ 幼体

水辺で水平に円い網を張り、羽化してくる水生昆虫などを捕まえます。秋には卵から孵化した子グモはジョロウグモの巣を借りて網を張っているのをよく見ます。



イナズマハエトリおす

体長 5 ミリ。雌の腹部には雄よりもたくさんギザギザした白い筋が入り、稲妻のように見えるところからこの名前が付いたようです。

**植物** ミヤコグサ、アカツメクサ、ニワゼキショウ、ハルジオン、セイヨウ・ニホンタンポポ、トキワハゼ、タチカタバミ、オオイヌノフグリ、キュウリグサ、ニガナ、ヤブジラミ、スイバ実、ナガバギシギシ花蕾、ブタナ、ツボミオオバコ、ヘラオオバコ、ネズミムギ、カモジグサ、シナダレスズメガヤ、チガヤ実、アヤメ、シラン、クレマチス、ジャーマンアイリス、ニセアカシア終わりかけ、スギ新芽、シュロ花蕾、ウツギ花蕾、シイ花、シラカシ花、ヤマハゼ開花、イボタ開花、スイカズラ開花、カナメモチ開花、ガマズミ開花、ノイバラ花、ヤナギ類実飛ぶ、ヤマザクラ実、ヤマモモ実、オニグルミ実、**昆虫** ヒメウラナミジャノメ、コムスジ、アサマイチモンジ、アオスジアゲハ、マイマイガ幼虫、ヨツボシホソバ幼虫、オオクロバエ、キンバエ類、シマバエの一種？ナミホシヒラタアブ、アシプトハナアブ、ヤナギルリハムシ、サメハダツブノミハムシ、バラルリツツハムシ、ケブカキベリカスミカメ、マツアワフキ、オオカマキリ幼虫、ナナフシ幼虫、**夕毛** アシナガグモ、ササグモ、イナズマハエトリ、アリグモ、アオヒゲナगतビケラ多数、**鳥** ツバメ、ハシボソガラス、キジバト、ウグイス声、メジロ声、ヤマガラ声、コゲラ声、カイツブリ声、カワウ、**その他** オオナメクジ、タマキクラゲ

次回は、6月10日(木) 午前9時30分、水資源機構P前集合、参加費100円